

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.780 2018

2018年10月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料62円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号
TEL：03-5367-6640 FAX：03-5367-6641
URL：http://www.ymcajapan.org/
発行人／神崎 清一 編集人／山根 一毅
印刷／あかつき印刷株式会社



Youth Empowerment 4 Good



第19回世界YMCA大会が2018年7月8日～14日にタイ・チェンマイにて開催され、世界およそ90の国と地域から約1,300人の仲間が集まり、日本からは39人が参加しました。今号ではその報告を致します。



OPINION

「YE4Good」を目指して

岡戸 良子(清泉女子大学 ボランティアラーニングセンター長)

4年に一度行われる世界YMCA大会に、私は初めて参加しました。およそ90カ国から約1,300人のメンバーが会場となるチェンマイのホテルに集い、まさに世界のYMCAファミリーを肌で感じる1週間となりました。

この大会でのテーマは「YE4Good」「ユースエンパワーメント永遠なり」。つまり社会の变革を担う若者の可能性を信じ、さらに彼らに一貫した糧を注ぐことでした。大会参加者たちは、そのテーマについてワークショップを通して熱心に語り合いました。

この大会において、このユースエンパワーメントの強化のためには、「若者の雇用」「環境」「健康福祉」「市民参画」の4項目が挙げられました。しかしながら、これらは若者に限った重要な課題なのでしょうか。私は、今を生きるすべての人のためにYMCAが持っている力でエンパワーすることが大切だと思っています。

私は現在、APAY(アジア・太平洋YMCA同盟)の常務委員を務めており、ジェンダー委員会の委員長としての役割を担っています。アジアにおいては、人間としての尊厳についてよく考えさせられます。多様性・多文化共生の時代にあって私たちに求められることは、異質なものを受容する力だと思われまふ。そして、その力はキリストの生き方に基づくYMCAの「C」の部分から得られるのではないのでしょうか。

また、この大会期間中に選挙が実施され、私は、世界YMCA同盟の常務委員にも選出されました。これからは、アジアから世界を通してYMCAの運動体を考えることができます。ユースエンパワーメントは単なるスローガンで終わらせてはならず、創立者のジョージ・ウィリアムズが考えた「神の国」の建設のためにYMCAの強いミッションを兼ね備えた人びとを、ここ日本のYMCAが率先して育成することが大切だと思っています。

(世界YMCA同盟常務委員、アジア・太平洋YMCA同盟常務委員、日本YMCA同盟常議員、横浜YMCA常議員)
(OPINION…意味は「意見・見解」など。『THE YMCA』では毎号、関係ある団体・個人からの意見や提案を掲載します。)

ユースの活躍が会場を熱気あふれる空間に

今回の大会テーマのとおり、ユースが世界YMCA大会の運営を担い、活躍しました。特にセレモニーや朝のディナーで披露された見事なバンドの生演奏やチェンジ・エージェントによるパワーあふれるパフォーマンスが会場を熱気とメッセージで包み込み、人びとの中のYMCAに対する思いが共鳴するような空間となつて、世界から集まった大勢の人たちを一つにして会が進められました。

3日間を通してのグループディスカッションでは、自分たちの国の若者が直面する課題について共有し、YMCAはどのような存在であるべきなのかを話し合いました。その他に基調講演、選挙、フィールドトリップ(遠足)など活発な内容となりました。

期間中チェンジ・エージェントから伝えられる決意や表情は、YMCAで進められている「ユースエンパワーメント」の推進が実を結ぶ過程を示していました。



裏面へ

参加者の声

日本YMCA同盟会長 笈川 光郎

大会は、毎朝のディボーションで祈りをもって始まります。YMCAの基本となるキリストの教えを学ぶことにより、世界が一致してYMCA運動を進めていることをあらためて確認しました。

世界YMCA同盟総主事ヨハン・エルトヴィク氏が提唱したユースエンパワーメントの取り組みは着実に成果を上げており、それは大会運営を30歳以下のチェンジ・エージェントが中心に担っていたことに示されています。参加した少人数のグループワークでも、チェンジ・エージェントがファシリテーターを務め、ユースエンパワーメント推進のための具体策を討議しました。この流れは、今後4年間の世界YMCA活動方針に「Youth Empowerment 4 Good」というテーマで引き継がれました。

6月の日本YMCA同盟協議会で会長に就任した私は、大会期間中に実施した役員選挙に参加しました。世界YMCA同盟新会長に初めて女性が選ばれ、常務委員も若者や女性を優先して選挙する仕組みとなり、YMCAのこれからを誰が中心となって担うのか、という方向



グループワークのメンバーと（左が笈川氏）

性が明確でした。世界のYMCAと歩調を合わせてユースに権限委譲し、若者が担うYMCAとなるように、日本においても会員運動の中心を若者にする取り組みが必要であるとの思いを強くしました。

第4期のチェンジ・エージェントの募集が始まろうとしています。世界の若者と一緒になって活躍する日本の若者が一人でも多く参加してほしいと願っています。

世界YMCA同盟チェンジ・エージェント 桑原 ケビン 清治

チェンジ・エージェントとして力を合わせて一つのパフォーマンスを作り上げたり、グループワークのファシリテーターとして役割を担ったり、さまざまな世代の人との関わりの中で、気付きの多い貴重な機会でした。その中で特に感じたことは、日本人と海外の人たちとの「行動力」の差です。

私たち日本人は物事を順序立てて考え、行動することが得意ですが、「考える」部分に重きを置き過ぎている気がします。考えることは大切なことですが、行動しなければ始まりません。これからはいかに「行動するか」が日本のユースの課題ではないでしょうか。

また、ユースをエンパワーしていくことにシニアは慎重になりがちだと感じますが、ユースはしっかりとパワーを持っています。まずそれを生かす機会を設けてほしいと思いました。

大会中、西日本豪雨災害の犠牲者に対して参加者の前で祈る機会がありました。「やりたい」と思っ

たところ祈りの話がありました。英語面などサポートをしていただきながら無事に終了した時、自分がエンパワーされたと感じました。個々人の行動が集まって大きな力となります。個人の意識を変えていくことが、



壇上で祈る桑原氏

YMCAをよりユースにとって成長できる場所にする第一歩になるのではないのでしょうか。

ユースエンパワーメントと多様性の実現に向けて

「ユースエンパワーメントこそがYMCAのDNA」。

世界同盟総主事ヨハン・エルトヴィク氏のリーダーシップによる『NEW WAY』（2010年～2014年）、『OUR WAY』（2014年～2018年）に続き、今大会ではそれを確実に引き継ぐ『2018-2020 計画 Youth Empowerment 4 Good』が発表されました。18億人とされる世界のユース世代がおかれている立場の大きな課題は、彼らの正当な権利が守られず、社会から見落とされていることです。その解決策となるユースエンパワーメントに、すべてのYMCAがより連携を強めなければなりません。多様性を認め、すべての人びとが安心できる場所「セーフ・スペース」という概念も示され、さらに多くの若者がYMCAの輪に加わることを目指します。

大会では世界YMCA同盟初の女性会長としてパトリシア・ペルトン氏（カナダ）が選ばれ、初のアフリカ出身の世界同盟総主事、カルロス・サンヴィー氏（トーゴ）と共に紹介されました。ユースの力と同時に、多様性を実現しようとするYMCAの意志がはっきりと示された大会でした。



世界YMCA同盟新会長パトリシア・ペルトン氏（左）と次期総主事カルロス・サンヴィー氏（右）

Positive Net NEWS

ポジティブネット…互いを認め合い、高め合うことのできる、人の善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク

2018年度 世界YMCA/YWCA合同祈祷週

世界YMCA・YWCAでは、11月の第2週目の日曜日からの1週間を合同祈祷週として、毎年一つのテーマのもとに、聖書からのメッセージを聴き、祈りを共にするときとして定めています。今年は、以下のテーマのもとで祈りを合わせます。日ごとの具体的なテーマは下記の通りです。

テーマ	ユースエンパワーメントが世界を変える ～限りない可能性を信じて～
日程	2018年11月11日（日）～17日（土）
第1日	善い業のために造られて
第2日	善い業のために可能性を与えられて
第3日	善い業のために課題を与えられて
第4日	善い業のために打ち勝つ
第5日	善い業のために変えられて
第6日	善い業のためにエンパワーされて
第7日	善い業のために祝おう